

2023.1.19 (木)
第25回例会
(通算3694回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニアファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	職業奉仕月間
本日のプログラム	上期を振り返って（三役・四大委員長）」(担当：理事会)
次週例会	講師例会「釧路の宝物（資源）を域外へ届ける。」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：小野寺 俊君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

滝越 康雄会長

こんにちは。今日もご出席いただきありがとうございます。ロータリークラブ関係は行事が少ないので、報告事業として手元にないものから話題を変えて、どうでもいい話をいたします。



私は最近、昨年買った5Gのスマホばかり見ています。スマホのGoogleを見てみると、ニュースはいつも日銀さんの黒田総裁が1・2・3番手ぐらいに絶対入っています。今日は日銀さんの話に絞って、題を付けるとすれば『庶民に優しい日銀さん』です。金利や為替ではありません、私の事です。私の一番上の姉は88歳で、少し認知症を煩っていますけれども、昔は日銀に勤めていてお世話になっていたことがありますから、少し親近感がありまして、その話をさせていただきます。3つぐらいお金に関するエピソードがあります。

1つ目のエピソードです。これはそれほど前ではありません。ロータリーかもしれませんけれども夜の会合で会費がかかるので、1万円を妻に頼んでいました。私は4時ころ準備をして5時に出かけようとしたら、なにもお金を置いていないのです。妻に「お前、お金はどうしたの」と聞いたら「机の上に置いたでしょ」

と言うわけです。

ハッと思いました。4時ころに自分の机を整理していて、いらぬものを全部シュレッターにかけていました。そのとき銀行の封筒の1万円をはさめてシュレッターに入れてしまったのです。それが、たまたまシュレッターのゴミを全部取り出した後だったので、底に微かに残っていたのです。が、この1万円を拾うことがジグソーパズルのよう大変でした。封筒の紙と紙の間に日銀さん（1万円札）の破片が入っていますから、それを回復させるのに大騒ぎをしました。それが最高に難しいジグソーパズルで、妻が女の意地で、1週間ぐらいかけて回復させて1万円は戻って来ました。あのお金が2万円ならアウトですね。重なりがない1万円だったから良かったのです。そんなことで、日銀さんに大変お世話になりました。

もうひとつ日銀さんのことです。私は新婚のころ、父親の家を増築して住んでいたものですから実質的に親子同居です。当時、生活費と食事代として6万円を父親に渡していました。そして給料日にドタバタしているうちに、テーブルの上に置いてあった6万円の生活費を妻が「見たら、ない」と言って探しているのです。

ハッと思い、径路をたどってみたら、テーブルの横にあったごみ箱に封筒ごと入って、庭先のサビたボロストーブに入れてしまっていたのです。忙しかったものですから、火を付けた後にかき混ぜなかったことが良かった。夜になって、この径路だと思ってそれを

懐中電灯で探して見たらお金が1 / 4 ぐらいに重なり合っただけに残っていました。あれをかき混ぜていたら完全にアイト。そして6万円という金額がちょうど数えられる金額で、ウチには札束なんてありませんが札束なら大変なことですよ。

そのようなことで、前の晩はごみ箱を床の間に置いて風呂敷をかけて保管していました。翌朝に私の自慢のマークIIで日銀釧路支店へ持って行って見せました。その時、担当の方が「お仕事は何ですか」と聞くものですから当然名刺を出しました。何か、ニタツとした声で「これは火災保険は出ないのですか」と言うのです。そこで「出るなら、私はここにきてないよ」とタンカを切ろうとしましたが、それはお金を返してもらえればそれで良いのですから。この2つ、とても釧路の日銀さんにお世話になりました。

お金に関しての3つ目。昭和47年に新婚旅行で九州へ行きました。そこに旅行の大金を持って行かなければならないとき、当時は「オンラインだから向こうで引き出せる」という約束があって、富士銀行に口座があったのでお金を入れて、熊本へ行った時に印鑑ひとつで下ろせました。それを熊本のタクシーの運転手さんに話したら「それは凄い話だね。じゃ私も明日、日銀へ行って口座を作って来ますわ」と言うのです。妻も銀行の窓口にいましたから、その後は、話の分かっている人だと思ってタクシーの中はシーンとしていました。

その後の2013年、私は札幌へ出張した時にお金を引き出そうと、いまは名前が変わったみずほ銀行に行きました。3万円から5万円ぐらいをと思って行ったら、お金を引き出せなくなっていて、てんやわんやしていました。例のATM機の事故で引き出しはできませんでした。

なぜ、昭和47年に印鑑ひとつで熊本で引き出せて、41年後の2013年に現金が引き出せない。ちょっと納得できない時代だと思っています。あの当時、富士銀行の口座にお金を入れていても、もし印鑑ひとつで引き出せなかったら悲惨な目に遭っていたのでしよう。旅のお金はやっぱり腹巻きとは言わないですけど、パンツに3万円から5万円を入れておいた方が安全だと思います。旅先でひもじい思いは嫌ですからね。このようなお金に関して3つの体験がありましたので、話題として提供します。

会長挨拶にはならないと思いますが、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

■本日のプログラム■ 上期を振り返って

滝越 康雄会長

今日は、『上期を振り返って』ということで、企業

で言えば中間決算です。各事業とも確実にこなして来ております。とにかく前半は予定スケジュールをこなすだけで精一杯でした。なにかの結果を出したいが例会対応と定番の事業に追われて他のことはほとんど手付かずで、行っていません。決まったことだけ行っています。



私の体験談として、きつかったことは野球大会の始球式。そして心に残ったことは厚岸ロータリークラブ60周年で、その場での挨拶要請が非常にハプニングでした。あとは厚岸さん訪問と白糠さんには会長・幹事会等でおじゃましましたけれども、少人数クラブの交流は非常に楽しい体験でした。小さなクラブでもとても一生懸命にやられていて、そして10人・11人のクラブでも何かの事業をやるといえば、グローバル補助金や財団の資金を使えるわけです。財団の再配分のシステムは非常に良いものだとつくづく思い直した次第です。

年度の個々の事業は、これから大委員長さんに発表を願いますので、そこをお願いします。この会長職ですが、釧路クラブはしっかりと組織だっていますので意外と自由裁量権はありません。私は舟木さんの時のクラブ大委員長の時の方が大胆に活動して案外面白いと思いました。

最近の心境ですけれども、ロータリーのすべてにギャップを感じて悩んでおります。私自身も年配なので、クラブ内のみんなは後世代で若いですから。何かの行動を起こしたいとしても現実とのギャップもございます。何がギャップかということ、奉仕活動で何ができるのか、いろいろな課題の芯を捉えているのか、そのような歯がゆさがあります。例えば、釧路の街全体のことを考えたら課題だらけだと思いますし、翻って私どものクラブの年間予算が2,680万円で、昨年3月に計算したのですけれども6年間で1.57億円を消費しています。組織は大きく有力者の方が揃っていますので、その面で奉仕の範囲内で結果を残せないかと悶々としたものを今でも持っています。ロータリーの規定の枠内・奉仕の枠内で、例えばまちづくりなどのような意見発表でも良いですが、あってしかるべきかと思っています。ただ前例なしはロータリーでは異端で、あまり望まれていません。ベクトルが違うということですかね。そのようなことで個人の中では悩みとして持っています。

そして、最近、禅寺のお坊さんの本で上限を感じました。『いいかげん』という言葉がありますけれども、「いいかげん」はだらしないですけど、「イイかげん」は身の丈に合った・能力に合った活動で収める。良い

意味で「イイかげん」になった方が組織にとっては良いかと思ひまして、自分の力量を知り、その限界値を知って行動をする。自分の本来あるべき能力において合法的にロータリーの奉仕の範囲内で何かの活動を生み出したい。それが私の現在の心境で、私の上限です。

今日の発言は、私の個人的な意見で、ちょっと中味的には命がけのつもりで発言しました。何かを生み出したいというモヤモヤした状態で、これがちょっとギャップでありストレスにもなっているいまの心境でございます。

以上です。

中島 徳政幹事



幹事の中島です。会長にモヤモヤとした最後を持って行かれまして、スタートがすごくやりづらい感じになっております。まずは、昨年

7月にスタートさせていただきまして、皆さまの温かいご声援・ご協力でごここまでやって来られたことに感謝を申し上げたいと思います。

実を申しますと、滝越会長と昨年の今ごろは何度も話し合いをさせていただきました。当時はコロナウイルスが全盛で、制限を受けるような例会であり、クラブ活動でした。今年度になり、どのように対応して行けば良いかを深く話をさせていただき、その時の感染者数を見ながら「これぐらいなら、こうだね」と話をしたことを覚えております。そのころ、会長テーマなどの話もある中で、会長は「コロナ禍によるロータリー活動の制限を受けるような状態からできるだけ脱却して、普通のロータリーに戻していきたい」と幾度も話をされておりました。私には、その「普通のロータリー」という感覚のすり合わせがうまくできませんで、そのことについてお聞きしたら、さらに会長は「事業で何かをする。大きなことをするのではなく、1回1回の例会をしっかりと開催して。休みが続くと休むことが普通になり、気にならなくなる。ここで数年そうなってしまうメンバーも多くいるような状態があるので、例会に出席することが癖になるようなクラブに戻していくことを目標にしたい」という記載が残っておりました。

その思いからスタートして、皆さまご存じのように、私が会長スローガンを何度も再考していただく形になりまして、現在の「創り出そう身近な奉仕を友情、愛情 そして熱意で」という滝越会長にはない前向きなテーマでスタートをしていただきました。

その想いが通じてか、社会情勢なのかよく分かりませんが、夜間例会は月1回を含めて本年度は25

回、本日の例会まで休みなく開催させていただいております。本当にありがたいことだと思っております。

さて、私のことになりますけれども、小さな会社ですが、会社の仕事とクラブのための時間の調整を年のせいにはしたくないのですが、クラブの活動に対して細部に気を配って毎回の例会や事業、それから企画などひとつひとつを自分の中で租借をしながらという思いはあるのですが、なかなかそこにたどり着くことができません。担当をしていただいております委員会さん・大委員長さん・三役さんには大変ご迷惑をおかけしている状態だと思っております、申し訳なく思っております。特に帰還された大山さんには大変ご迷惑をおかけしております。前年度の市橋幹事はすごく頼りになったと思いますが、私は全然頼りにならず、ミスコピーばかりで裏紙作りをたくさんさせていただいております。多分、最後にはコピー用紙を贈呈しなければいけないのかと思っております。改めて、皆さんにお礼を申し上げたいと思っております。

自分としましては、職業奉仕の実現は大変なことだと、今とても実感をさせていただいております。

最後になりますが、幹事として本年度、委員会や情報集会の皆さんの会費の負担の増額をお願いいたしました。皆さんに快くご理解をいただき、ご協力いただいていることに感謝を申し上げまして『幹事の上期を振り返って』というご挨拶に代えさせていただきたいと思っております。

あと、半年です。滝越会長はもう山に9割登ったような話をされておりますが、まだ半分でございますので、ぜひこれからもお力添えをいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

クラブ広報・会員組織委員会及川雅順委員長からメッセージ (中島徳政幹事が代読)

皆さん、こんにちは。本日は欠席で申し訳ございません。クラブ広報・会員組織委員会の及川です。当委員会の上期の活動を振り返ってみます。

クラブ会報・雑誌委員会は、小野正晴委員長を筆頭に各委員が自分の役目をきちんとこなし、ホームページの更新を概ね円滑にできていると思っております。

会員増強・選考・職業分類委員会は吉田秀俊委員長の下、委員会を開き職業分類の細分化を検討し、会員選考をして人数の変動を押さえ、いまだに104名を維持しております。(実は、木村豊年さんが12月31日で退会届を提出されましたので、現在は103名になっております)

ロータリー情報委員会は、8月25日に『上期新入会員歓迎会』を開催しました。9月1日から13日までの期間『情報集会』をA～Jの10グループに分けて開催しました。9月15日に『情報集会報告例会』を開催し、各班に発表をしていただきました。

以上、クラブ広報・会員組織委員会上期の報告といたします。

クラブ運営委員会 佐藤 貴之委員長



皆さま、こんにちは。クラブ運営委員会の佐藤です。まず上期を振り返ってですが、私たちのクラブ運営委員会は、皆さまのお時間と会費

のお金を大多数扱っていますので、この上期に関しては、しっかりやっていたらいけないということでスタートしました。

先ほど、幹事からもお話しがありましたが、滝越会長がもう半分終わったような感じのご発言が多々あると私も伺ってはいますけれども、各委員会小委員長・副委員長はまだまだこれから半分残っております。ぜひ会長も残り半分ございまして、元気に頑張ってくださいと思っています。

各小委員会に関しましては、個別でお話しをする予定はありませんけれども、本日テーブルに上期の出席率の用紙を乗せておりますのでご確認くださいと思います。

親睦委員会は皆さんが大変頑張っております。先週もそうでしたが横田委員長が司会をするとき、皆さまが何かと横田委員長をいじる傾向があると思います。何分、横田委員長はキャラが濃いのでそれが目立ってしまいますけれども、皆さま、次回の横田委員長が司会するとき実際に中味よく見ていただければ大変素晴らしい設えをしていることが分かると思います。親睦委員会は例年よりも数多く開催しております。横田委員長は本日もやっぱり経験のある工藤さんにいろいろ話を聞いて勉強をしながら、親睦活動委員会を一生懸命頑張っております。このような方がきっと『周年事業』や『地区大会』を支えているのだといつも感じていて、私の親睦活動委員会の時とは全く違うという思いがあります。

あとは、プログラム委員会に関しまして、本日は村上委員長は欠席ですけれども下期もほぼすべてプログラムの内容は埋まっております。本当に私、大委員長が何もしなくても淡々とすべて決まっています。

そのような委員会ばかりです。上期に関しましては、私が力不足だったということが多々ございました。下期に関しましては会長と共にこの滝越年度を支えていけるように頑張っていきたいと思っています。そのようなことで下期も委員長をはじめ皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

奉仕プロジェクト委員会 吉田 英一委員長



奉仕プロジェクト委員長の吉田英一と申します。今日は秀俊さんがおりますけれど、このロータリーでは、私は悪い方の吉田という愛称

になっておりますので、皆さんご認識いただければと思います。

奉仕プロジェクトの4つの委員会を担当させていただいています。年度前から恒例の『野球大会』の準備がありまして、猛暑日の35度以上で開催された青少年奉仕委員会担当の『全道中学硬式親善野球大会』は東堂委員長のご尽力により無事開催することができました。会場を提供していただきました釧路湖陵高校と釧路工業高校、そして釧路リトルシニア球団の関係者や保護者の皆さまに改めて感謝をさせていただきます。

岩田委員長が率います社会奉仕委員会では、「コロナ禍の学生生活釧路公立大学の現状」というテーマで、釧路公立大学事務局次長で学生課長の小野寺美香様にご講演いただきました。

国際奉仕委員会では、コロナ禍でもあり台北には行けなかったですけれども、水口委員長のご尽力によりまして動画でのメッセージとなりましたが、姉妹クラブの台北中央クラブとの交流を無事行っていただきました。

曾我部委員長が率います職業奉仕委員会ですが、本行寺様を訪問させていただき「本行寺の歴史と有形文化財登録に向けて」というテーマで『職場訪問例会』をさせていただきました。会員であります本行寺の菅原君には大変お世話になり感謝申し上げます。

各委員長の素晴らしいリーダーシップのおかげで、委員会メンバーの皆さまをより多く巻き込んでいただき、このような結果で無事に半年を過ごすことができましたことには、非常に感謝申し上げます。

大委員長である私が出る幕がほとんどありませんでしたが、安心をしておりましたら『クリスマス家族例会』の余興で、私のキャラではない『きつねダンス』をご披露させていただき、僕も微力ながら力を発揮できたと思っています。

残り半年ですが、東堂委員長が率いる青少年奉仕委員会担当の『アイスホッケー大会』も近々、開催されますので皆さまにお願いすることが多々あるかもしれませんが、そのときはご理解ご協力をよろしくお願申し上げます。

最後になりますが、滝越会長が年頭の挨拶で、半年間山を登って、下りる。その下りることも大変なので『組織を再起動する』すると言われておりました、テ

マでも「友情、愛情そして熱意で」が謳われております。経営の神様である松下幸之助は、この再起動のことを『日に新た』という言葉を使っております。『日に新た』のような気持ちで組織を再起動することによってさらに活性化するとされております。われわれの4委員会は皆さまと力を合わせながら、日に新たな気持ちで残り半年頑張っていきたいと思っておりますので、皆さまにおかれましては最後までご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

ロータリー財団・奨学推進委員会 米本 富夫委員長



皆さん、こんにちは。ロータリー財団・奨学推進委員会の米本です。今日はよろしくお願ひします。『上期を振り返って』

ということですが、私の上期は、今年の今ぐらいの新年交礼会が終わってから始まったような気がしております。2月には、次年度理事予定者による理事会が開催されました。そこで、委員会の活動方針を提出しなさい、各委員会の正・副委員長を選出しなさいとなって、いろいろ大変な苦勞をしてきたことが記憶に残っております。

そうこうしているうちに、4月になりますと旭川で『地区研修会』があり、戻りましてその発表。そうしているうちにもう7月、2022-2023年度がスタートしてしまったと思っております。

私どもの委員会では、秋にNAYUTAの会と合同の『米山記念奨学会チャリティーゴルフコンペ』を開

催させていただきました。多くの皆さまにご出席をいただきまして本当にありがとうございます。また11月には例会を担当しておりましたが、講師の都合により中止になりまして、荒井委員長がピンチヒッターで例会を収めていただきました。本当にありがとうございます。

ということで、なんとなくもの足りなかった上期という感じがしていますけれども、下期はそれを糧にまた頑張っていきたいと思っております。

余談ですけど、私は下手ですけどゴルフが好きで、年に結構な回数行かせてもらっています。昨年、ドライバーを新調して少し頑張り、前半は飛距離も伸びてスコアもベストスコアの90が出ました。これは80台前半まで行くのではないかとこの勢いで頑張りましたが、8月の中旬から段々スコアが落ちてきて、最後には110回の大叩きをして締め括ってしまった苦い経験があります。ロータリーの方も、今年の私のゴルフのようにならないように地に足を付けてしっかりと目標を見据えて、思いっきり気持ち良く振り切って後半を乗り切りたいと思っておりますので、皆さま方ご協力のほどをよろしくお願ひします。

以上で、私の報告になります。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

■吉田 秀俊君 来週の例会で私の甥が講師を務めさせていただきますので、よろしくお願ひします。

今年度累計 308,000 円